

# 東 Sound

東中祭通信第4号

## 歌をよくするポイント



### 交流会について

- ① 故課後のクラス練習の時間で行う。
- ② 主な目的は、他学年との交流を通して刺激を受け、クラスの練習の充実を図ること。
- ③ 交流相手は、兄弟学級と行う。(例=1-1→2-1と3-1)  
 ※他の学級と行っても良い。  
 (2-1→1-1と3-1)  
 (3-1→1-1と2-1)
- ④ 両学級の担任がいる日に行う。

### 演奏順

	1番	2番	3番	4番	5番	6番
1年生	3組	1組	4組	5組	6組	2組
2年生	2組	3組	5組	1組	4組	
3年生	1組	6組	5組	3組	4組	2組

- 何よりもまず、1人1人声を出し出す。
- 見た目も大事。姿勢を意識する。
- 歌うときは指揮者を見る。
- 歌うときは「ほほほあー」、いよいよとした表情で歌う。
- 歌詞の内容を理解し、曲のイメージを持って歌う。
- 曲の中の「クワイマックス」や「聴かせどころ」、 $\langle$ 山 $\rangle$ をいかに表現するか考える。
- クレッシェントを十分に盛り上げる表現を工夫する。
- 伸ばす音は短くならないように十分伸ばすようにする。
- リズムにのって、体全体で歌うようにする。
- 地声は美しいハーモニーが出ないので、のどを開けて柔らかい頭声で音程を正しく歌う。
- 主旋律は全体の中で一番よく聴こえるようにする。
- 男声はしっかり歌うと演奏全体がしぼまる。
- 指揮者は一回ごときに、何らかの指示・目標を与えながら練習を重ねる。

### 岩崎先生から

各学年と、中間発表会が終わりました。人前で歌って、どうだった？緊張した人多いのではないだろうか？東中祭本番が近づいてきたり、ぜひ交流会も行ってみてほしい。交流会では、人前で歌う緊張感を体験できることはもちろん、自分のクラスや他のクラスの良いところを発見することがあります。自分のクラスの良いところはさらに伸ばし、他のクラスの良いところをどう真似て自分たちのクラス合唱に仕上げたいでしょうか。また、今回は「歌をよくするポイント」も掲載しました。みなさんのクラスはどれくらいできていますか？チェックしてみてください。まだできていないポイントは意識して歌っていきましょう。歌は、聴く人に「心」を伝えることができます。「心」が変わると「息」が変わり、「息」が変わると「声」が変わり、「声」が変わると「音楽」が変わります。クラスの仲間全員が同じ「心」で歌ったとき、その歌は感動的な「音楽」になります。全てのクラスの歌が素晴らしい「音楽」へと変貌を遂げることを期待しています。